

哲学する？
でもどうやって？



1つの問いから多様な発想が生まれる

てつがく対話 カフェ



初めての方にとって「てつがく対話」と聞くと、難しい印象を受ける方がいるかもしれません。でも、実際にはそんなことはありません。

てつがく的な問いには、正解も不正解もありません。また、事前の知識も必要ありません。気楽な気持ちで「おしゃべり感覚」で楽しんでいただけるものです。

そういう体験をしてほしいと企画しています。

子どもたちにも大人気のかわいい「てつがくカード」の問いを使って、おしゃべり感覚でできる「てつがく対話」と一緒に楽しんで見ませんか。



はじめに「てつがく対話」について概要を説明（20分程度）します。その後、5～6人のグループに分かれて実際に「てつがく対話」（40～50分程度）を体験していただきます。対話の問いは、あらかじめ「てつがくカード」から数枚を選んで用意いたします。

講師

高橋 利直

(株式会社ほんの木 代表)



1986年に設立された小さな出版社ほんの木の代表を務める。環境問題やボランティア、子育て、教育、格差社会、健康など、幅広いトピックに関する書籍を出版している。オランダ在住の教育・社会事情研究家であるリヒテルズ直子氏と出会い、イエナプランを始めとするヨーロッパの多様な教育手法に触れる。ヨーロッパ各地の小学校で使用されているオランダ発「てつがくカード」もその一つで、日本語版を出版。今後は、子どもたちだけでなく、このカードを活用した大人のてつがく対話イベントの各地開催を検討している。

指導者は哲学に深く
通じていなくても大丈夫



「哲学」は、人の生き方、友情や愛情、社会のあり方などについて、深く掘り下げて考えるための行為であり、哲学者だけでなく私たち一人ひとりが日常的に行っている行為です。

この『てつがくおしゃべりカード』は、指導者が哲学に深く通じていなくても、簡単な使い方を学べば、今からでもすぐに使えます。それに、心温まる可愛いイラストも素敵です。指導者自身も、子どもたちと共に哲学の魅力にとらわれていくに違いありません。